

Kumamoto Gakuen University
Library Bulletin

O a k s

大楠



図書館キャラクター「ひと」

52

2013
[平成25年]

特集

～新しい学びのカタチ～

ラーニング・コモンズ 始動!

Contents

- ① 館長エッセイ
- ② 特集「ラーニング・コモンズ始動!」
- ⑤ News News
- ⑦ Information
- ⑨ Library Data

第1回 学生 懸賞論文 説明会



堀 正広
Hori Masahiro

外国語学部教授、図書館長。博士(文学)。
英語コーパス学会会長。
著書『Investigating Dickens' Style: A Collocational Analysis. (Palgrave Macmillan, 2004. 英語コーパス学会賞)、『英語コロケーション研究入門』(研究社、2009年)、『例題で学ぶ英語コロケーション』(研究社、2011年)、『Kaneko Tohta, Selected Haiku With Essays and Commentary Part 1: 1937-1960, (共訳) (Red Moon, USA, 2012)など。

今年6月3日に図書館1階にラーニング・コモンズが開設され、これまでいくつかの新しい企画を行ってきました。「熊本県立翔陽高等学校大学訪問&体験学習」事前訪問の説明会、「新聞の読み方講座」、「七夕茶会」などです。

企画の一つとして、7月11日に「第1回学生懸賞論文説明会」を開催しました。開催趣旨は、応募論文の質の向上です。学生懸賞論文は、熊本商科大学が設立される前の熊本短期大学時代、昭和27年度から「学生の図書館利用を促進するため」に始まり、約60年の永き歴史があります。これまでたくさんの優れた論文が応募され、特選や入選論文は『学生懸賞論文集』として冊子が発行されてきました。しかしながら、ここ数年、応募者数にはほとんど変化はないのですが、特選の論文はおろか、入選論文もほとんどでていません。その原因として、多くの論文が基本的な論文の書き方や論文そのものに関する基本的な考えが習得できていない、というのが懸賞論文審査委員の多くの所感でした。

そのような現状を踏まえて、今年初めて「学生懸賞論文説明会」を開催することになりました。

「説明会」では、昨年度審査委員や専門審査委員をしていただいた3名の先生方、経済学部慶田収先生、社会福祉学部花田昌宣先生、そして外国語学部岩佐昌暉先生に論文の書き方についてそれぞれ20分ずつ話をさせていただきました。

慶田先生は「論文とはどのようなもの」というタイトルで、「新幹線開通」というテーマを例にとり、目標規定文(主題文)を「新幹線開通が熊本に及ぼす影響」と具体的に設定されて、序論の内容、本論のアウトライン、そして結論をわかりやすく例示されました。花田先生は「懸賞論文、評価のポイント」というタイトルで、第3次まで行われる本学の審査方法を説明されたのち、論文を読む人の視点から論文を書く必要があることを具体的な例をあげながらユーモアを交えお話しされました。岩佐先生は「私」の「主張」・それを語る「一生懸命さ」ということについて、自分が論文を通して何を伝えたいか、何を書きたいかを明確にし、それを読み手にわかってもらうことの重要さと真剣さについて力説されました。

3人の先生方はあらかじめ話の内容を相談され、調整されたわけではないのですが、実に調和のとれた説明会となりました。先生方の説明を聞きながら、学問領域は異なっても研究論文の書き方は全く同じであることを痛感しました。

ラーニング・コモンズでの第1回目の「学生懸賞論文説明会」は、参加者からの評判もよく、成功裏に終わりました。「今、図書館が変わる」、「今、図書館が面白い」と言われるように、これからも図書館からいろいろな新たな企画や試みを発信していきたいと考えています。



Kumamoto Gakuen University
Library Bulletin
O a k s

Oaksとは…

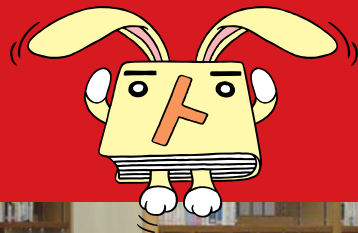
本学の大江キャンパスの建物は、奈良飛鳥時代の古墳群の上に築かれていますが、この地を考古学では、「大江青葉遺跡」と呼んでいます。

そのキャンパスには、創立当時から風雪に耐え我々を見守ってきた高さ20m、幹回り4〜5mに達する県木でもある緑豊かな楠の大木が何本もあります。これら歴史ある地と天高く聳えた大楠のように、当館電算システムと学園の発展を願ってOaks(Oe Aoba Kumamoto Gakuen University Library Information System)と命名しました。



～新しい学びのカたち～

ラーニング・コモンズ 始動!



2013年
9月20日(金)
正式
オープン

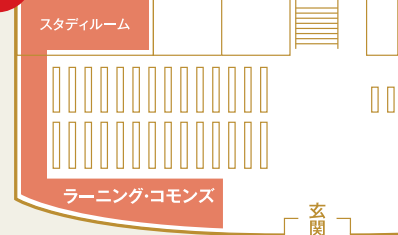


ラーニング・コモンズとは、学生の自主的な学習を支援するためのサービス・資料・設備を総合的に提供する空間です。本学では図書館1階の西側にラーニング・コモンズを新たに設けました。

丸テーブルをグループで囲み、話しながら学習できるスペースです。電子ホワイトボードなど最新の学習設備のほか、サポートデスクを設置し、文献検索やパソコン利用などの学習支援も行います。AVホールを利用したゼミの発表会、サークルの展示会、学生生活や就職などの情報発信スペースとしても活用できます。

本学のラーニング・コモンズは、学生と教員や学生同士など、図書館に集う人たちを「つなぐ」コミュニティを目指します。

1F



ガラス窓で仕切られていた
スタディールームのエリアを西側へ拡大

次世代型図書館空間。 主体的で独創的な 学生の学びを促します。

ラーニング・コモンズは
これまでの図書館と何が違う？

会 話 O K

グループワークができる
フリーエリアです。

飲料 持ち込み O K

フタのついた飲料（ペットボトル等）なら
持ち込めます。

テーブルアレンジ O K

テーブルや椅子は人数に合わせて
移動できます。

ノートPCの貸出 O K

プロジェクターや電子ホワイトボードも
貸出しています。

サポートデスク設置

図書館に関する様々な疑問に対応できる
スタッフが常駐します。

図書館の3つの空間



■ 静かな学習空間 私語禁止

■ 癒しの空間 グループ同志で
質問のやりとりや会話は可能

■ 動きのある学習空間 会話・飲み物自由

■ スペースの活用法

- ・ディスカッション
電子ホワイトボードを使って
グループで活発に意見を出し合います。
- ・ゼミなどの授業
教室から図書館へ場所を移動
図書館資料を使って情報収集できます。
- ・サークルの成果物の作成



■ 設備・サービス



- ・ノートパソコン貸出
1階メインカウンター5台、2階レファレンスカウンター4台
用意しています。貸出対象は学部生、大学院生です。
- ・プロジェクターや電子ホワイトボード貸出
ラーニング・コモンズのほか、グループ学習室でも利用できます。
◎各カウンターにて貸出手続きをお願いします。
- ・サポートデスク設置
パソコンの使い方、資料の探し方など、
わからないことがあればスタッフに声をかけてください。
- ・自動販売機設置

利用者の声

外国語学部

ジョセフ・トウメイ先生

ラーニング・コモンズはゼミや卒論の指導に最適な場所なのでよく利用します。少人数でのディスカッションや参考文献の参照も出来るので、とても便利です。教室とは違った雰囲気は学生達にも好評です。



講習会・イベントの開催



新聞の読み方講座 (5月14日)

日経新聞の紙面を使って、記事の見出しやリード（前文）の読み方、時事問題の答え合わせをするなど、就職活動中の学生だけでなく1・2年生にとっても充実した内容の講習会でした。



七夕茶会 (7月3日)

茶道部が浴衣姿でお点前を披露。美味しいお茶とお菓子をいただきました。



学生懸賞論文説明会 (7月11日)

論文審査に関わった先生3名から論文の書き方や提出手順についての説明がありました。

学生コンシェルジュ誕生！

ラーニング・コモンズの開設に伴い、学生サポートデスク要員として学生コンシェルジュを配置します。総合案内及び閲覧中の学生サポートをおこないます。懇切丁寧をモットーに対応しますので、お気軽にご相談ください。



1

平成24年度 学生懸賞論文 審査結果

平成24年度の学生懸賞論文には前年を若干上回る16篇の応募がありました。今回も例年どおり11月から12月にかけて一次審査、二次審査が厳正に行われましたが、特選、入選のいずれにも該当する論文はみられず、佳作9篇という厳しい審査結果となりました。

なお表彰式は平成25年1月23日14時30分から図書館4階の会議室で行われ、堀正広館長から講評が述べられたあと一人ひとりに懸賞金が授与されました。また参加者全員での写真撮影も行われました。その後は式に参加した同じゼミの友人たちと一緒に写真に納まる光景も見られ、和やかな雰囲気うちに終了することができました。

今回、入選以上の入賞者がいなかったことは大変残念なことです。来年度はもっとたくさんの応募を期待しています。選考結果は右のとおりです。

特選

該当者なし

入選

該当者なし



表彰式後参加者全員で

佳作 (9篇)

- 坂本 誉(商学科4年) 経済学的観点から見る脱原発を可能にするための方法
- 渡邊 文(経営学科4年) 携帯電話のガラパゴス化ー日本の携帯市場の何が問題かー
- 木下 有佳(ホスピタリティ・マネジメント学科4年) 映画館とホスピタリティ
- 中村 進(経済学科4年) 国内農業再建のために
- 興梠 聡志(リーガル・エコノミクス学科4年) 並行輸入問題について
- 宮崎 大介(リーガル・エコノミクス学科4年) 政府調達と地域統合
- 宮路 弓絵(英米学科4年) The effect of smell
- 前園 知子(英米学科3年) "Sylph Etherege"におけるSylviaの「死」という魂の救済
- 永野 文香(東アジア学科4年) 「中華民国」馬英九總統の「釣魚台」戦略一日中の狭間における「東シナ海平和イニシアチブ」実現の可能性ー

2

SNS (ソーシャルネットワークサービス) 始めました!

現在、学生のスマートフォンとソーシャルメディアの普及は大変高くなっています。また、学術情報においてもソーシャルメディア活用の必要性が叫ばれています。そこで、図書館では、広報活動及び学生との双方向コミュニケーションを強化するため、公式「Facebook」と公式「Twitter」を開始しました。



熊本学園大学附属図書館

新着図書の紹介やイベント情報を中心に、分かりやすく紹介していきます。



@hinoto_kgulib

図書館キャラクター「ひのと」が図書館の日々の出来事を、「ゆるーく」発信していきます。

3

新聞の読み方講座を実施

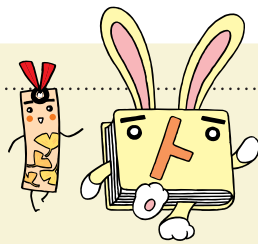
5月14日と7月4日にラーニング・コモンズフロアで「新聞の読み方講座」を開催しました。講師は日経メディアプロモーションの平瀬則幸氏。記事の見出しやリード(前文)の読み方のコツなどについて、学部生や大学院生、教職員などあわせて約80名が聴講しました。アンケートには「初めて新聞を読もうと思った」「新聞の活用の仕方がよくわかった。今日からポイントをおさえて読み込んでいきたい」など多数の感想が寄せられました。

業種を決めて企業情報を収集している人、内定が決まっている人、県内希望、公務員をめざしている人など、参加者一人ひとりが目的意識を持ってこの講座を受けている様子がうかがえ、経済知力向上や、業界・企業研究など、どう就活戦線を戦っていくかの情報源として、日経新聞を読むきっかけになったようです。

今回は11月19日(火)に開催します。詳細は図書館のHPや掲示でご確認ください。



4 新入生ガイダンスに 93ゼミ1,156名が参加



新入生ガイダンスは、学生に大学図書館の機能とサービスの理解、今後4年間の学習活動に図書館を有効利用してもらうための基礎的な支援として昭和60年から実施しています。今年も全学部的基础ゼミ(新入生93ゼミ1,156名)の「新入生ガイダンス」を実施しました。

ゲーム感覚を取り入れ、学生が楽しめる参加・体験型ガイダンスを目指して、地下書庫見学後、クイズ形式の「ライブラリー探検」で自由に散策。また、学生向けのアンケート調査では携帯電話を用いてQRコードを読み込ませる回答方式を初めて試みました。

全体プレゼンテーションでは図書館の3つの空間(特集ラーニング・コモンズを参照)を紹介。「印象付け」と「サービス案内」に重点を置き、ラーニング・コモンズという観点から新しい学習の仕方を提示しました。

チャレンジ問題(OPAC検索やデータベースを用いた新聞記事検索)は、643名(全体の6割)が提出しました。

ガイダンスを通じて図書館の施設とサービス、図書館員による支援の存在を知ることにより、図書館を利用しようという意識が芽生え自主的な学びへと繋がるのが期待されます。

5 ステップアップガイダンスは17回実施(185名参加)

例年、新入生ガイダンスが一段落する5月末から、より発展したレベルでの図書館利用を目的とした「ステップアップガイダンス」を実施しています。対象は1～4年生。例年、新入生ガイダンスの翌週にステップアップガイダンスを希望するゼミが多く、今年も参加の大半を基礎演習の1年生が占める結果となりました。(17回(185名)実施のうち11回は1年生(117名))

ガイダンスの内容は「レポート・論文の書き方」「プレゼンテーションの方法」のDVD視聴と「雑誌記事・新聞記事」のデータベース検索です。資料収集の方法を知り、データベースを活用することで情報を効率よく見つけることができ、また自分にとって必要な情報かどうか見分ける力もつきます。今年は大学院生からも希望があり、論文作成のための情報収集の仕方を紹介しました。

情報リテラシー(情報を主体的に活用する能力)は大学生活、ゼミ発表、レポート、卒業論文作成そして社会に出てからも必要不可欠です。これらが4年間で十分身につくよう図書館ではバックアップ体制を整えています。

6 日経テレコン21講習会を 開催しました

6月27日にラーニング・コモンズフロアにてデータベース「日経テレコン21」講習会を開催しました。日経メディアマーケティングから講師を招き企業情報、記事情報の検索方法などについて学びました。

参加対象は学生、大学院生、教職員です。SNSや学生ポータルサイト、ゼミの先生からの呼びかけも後押しし、22名が参加しました。企業情報の検索など、就職活動に直結する内容の実習となりました。

お知らせ

図書館では、定期的にデータベースの利用講習を開催しています。講習会の開催情報は図書館のHPや掲示でご確認ください。



7 オープンキャンパス開催

7月28日、8月8日のオープンキャンパスでは合計921名の来館となりました。

入口付近に展示した資料を眺めたり、AVコーナーでDVDを視聴したりと図書館内を自由に散策してもらいました。定期試験期間も重なり勉強をする学生達も多く、普段の図書館の雰囲気が来館者にも伝わっていたようでした。

次回開催日:
10月12日(土)



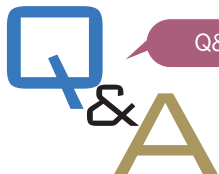
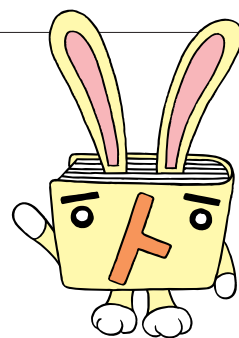
新聞縮刷版で自分の誕生日の出来事を調べる高校生

[図書館からのお知らせ]

機関リポジトリを正式公開

国立情報学研究所 (NII) は、平成24年度よりJAIRO Cloud (共用リポジトリサービス) を運用開始しました。機関リポジトリを新たに構築する機関を対象として、クラウド型のシステム環境が提供されるもので、それにより参加機関はシステム構築の心配は不要になり、コンテンツ登録に集中できます。

本学は平成24年4月に利用申請をし、学内試験公開を経て、平成25年4月23日正式公開にこぎつけました。



Q&A形式で機関リポジトリについて説明します。

Q 機関リポジトリってなに？

A 機関リポジトリ (Institutional Repository) = IR とは、機関 (大学等) で生産された研究成果 (全文) を電子的に保存し、発信するインターネット上の集積庫のことです。

Q なにを公開するの？

A 一般的には、研究成果の論文等で登録申請があったものを、担当部署 (図書館) が登録していくのですが、当面は学内の紀要等の論文を登録します。2013年9月2日現在で100件の論文を登録しています。

Q 公開するメリットって？

- A**
- 研究者のメリット**
 - 研究成果 (全文) がインターネットで公開されます
 - 研究成果がデジタル保存されます
 - 研究成果のアクセス及び引用が向上します
 - 大学のメリット**
 - 読者層が拡大します
 - 知名度が向上します
 - 研究・教育活動を公表できます
 - 国際的学術交流に寄与します

Q これからのことは？

A 登録予定の10誌 (『熊本学園商学論集』『熊本学園大学経済論集』『熊本学園大学文学・言語学論集』『熊本学園大学論集「総合科学」』『社会関係研究』『会計専門職紀要』『社会福祉研究所報』『産業経営研究』『海外事情研究』『水保学研究』) について、最新号が発行されるごとに承諾の確認をとりながら登録作業をしていきます。年間200~300件の論文が掲載される予定です。

リポジトリのサイトをご案内します。



熊本学園大学機関リポジトリ

本学の100件検索できます。
2013/09/02現在

熊本学園大学 機関リポジトリ
INSTITUTIONAL REPOSITORY



JAIRO JAIRO : 学術機関リポジトリポータル

2013/09/02現在
298機関 1,629,917件
(本学分を含めて) 検索できます。



リポジトリの入口は、図書館HP上にあります。

<https://kumagaku.repo.nii.ac.jp>

2 初の学生懸賞論文説明会を開催

平成25年7月11日、本年度の「学生懸賞論文」に応募を考えている人を対象とした説明会が図書館ラーニング・コモンズで開催され、22名の学生が参加しました。

当日は堀正広館長の挨拶のあと、3名の講師が紹介され、昨年度の審査委員および専門審査委員から、様々な視点で説明が行われました。経済学部の慶田收先生からは「論文とはどのようなもの」として、論文の書き方について注意するポイントの解説、社会福祉学部の花田昌宣先生は「懸賞論文、評価のポイント」について話しました。また外国語学部の岩佐昌暲先生は「私」の「主張」・それを語る「一生懸命さ」と題して、論文としてのまとめ方を述べました。

最後に図書館から「学生懸賞論文募集要項」を配布し、応募方法についてを説明。初企画の学生懸賞論文説明会は盛会のうちに終了しました。



3 「ナイスライ」西原中・帯山中

7月10日～12日に熊本市立西原中学校の2年生3名、9月10日～12日に熊本市立帯山中学校の2年生6名が本学図書館で職場体験学習を行いました。いずれも「ナイス・ライ事業」推進の依頼を受けて毎年行っており、地下書庫の棚移動や図書目録の作成など図書館業務について熱心に取り組みました。

図書館を希望した生徒ばかりとあって、新着本の受入など、図書館の一連の仕事を手際よく処理していました。



4 AVコーナー ちょこっとリニューアル

利用申込書の記入欄が多くて...

ヘッドフォンの受け渡しが億劫で...

という声を受けて、運用の仕方を見直すことにしました。従来の用紙を簡素化し、パソコンによる貸出手続も併用、ヘッドフォンをブースに備え付けたところ、スムーズな利用となり評判も上々です。



古いカセット付き語学資料を一新し、CD付き語学資料のコーナーを設けました。

皆さんの利用を
お待ちしております！



5 電子ブックサービス開始

「eBook Collection」(EBSCOhost)

マクミランランゲージハウス (Macmillan LanguageHouse)

英語の多読・速読指導用のサブリーダーがレベル別に63タイトル閲覧できます。

キーワード、著者等からの検索のほかカテゴリ別検索からも電子ブックを探ことができ、マイライブラリからログインすれば自宅や移動先でも読むことができます。図書館ホームページ「電子ジャーナル／電子ブック」からアクセスしてください。



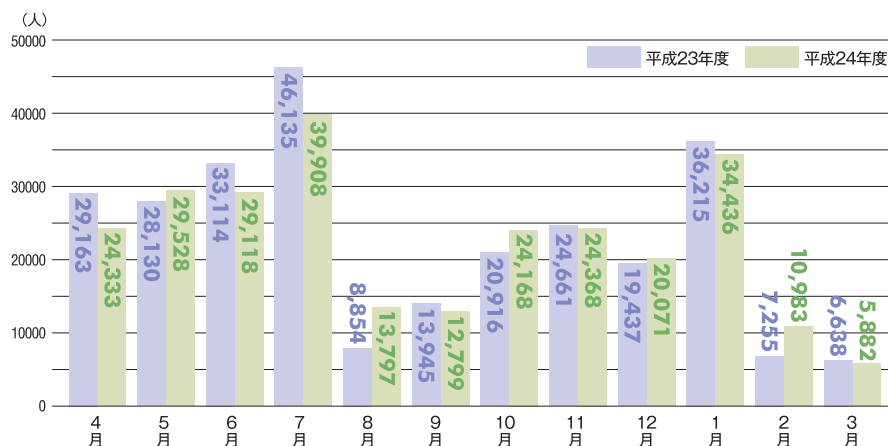
入館者数・貸出冊数統計

平成24年度
利用統計

入館者数統計



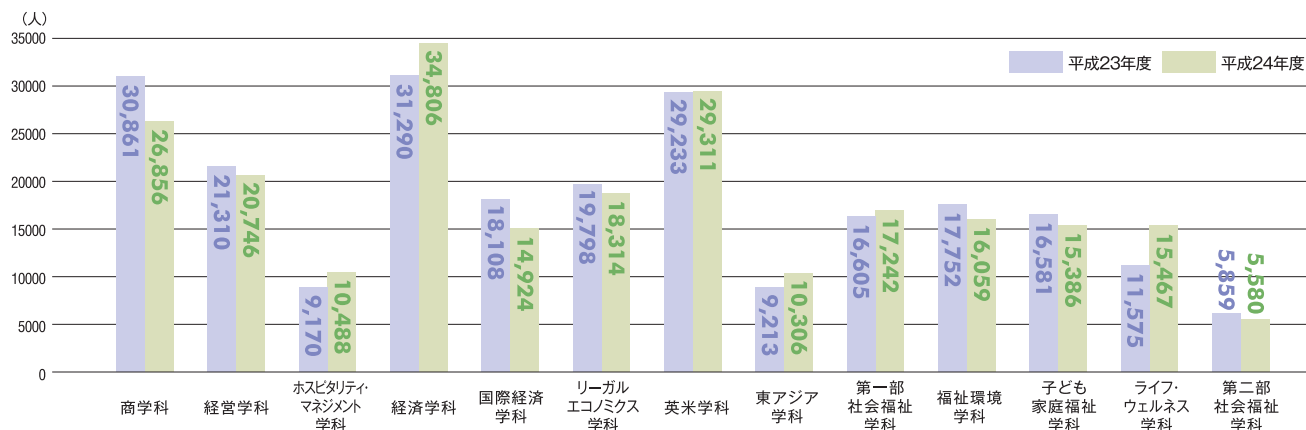
月別入館者数



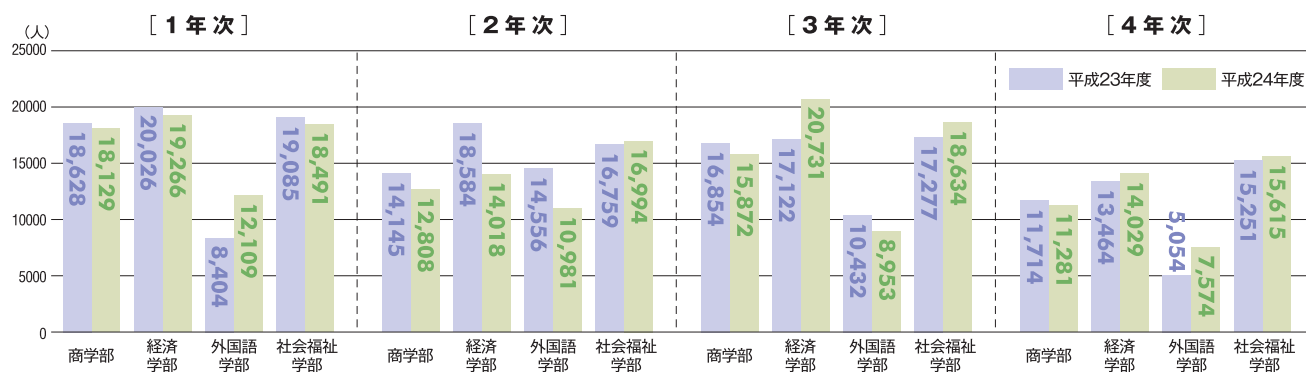
入館者数(過去5年間比較)



学科別入館者数

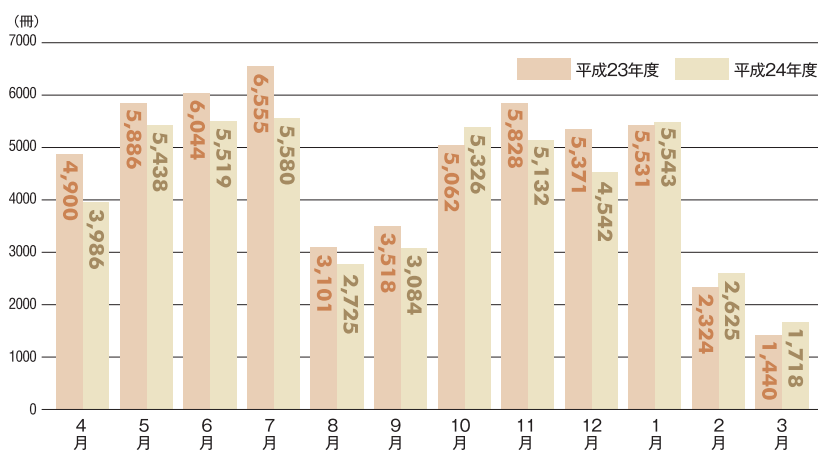


学年別入館者数

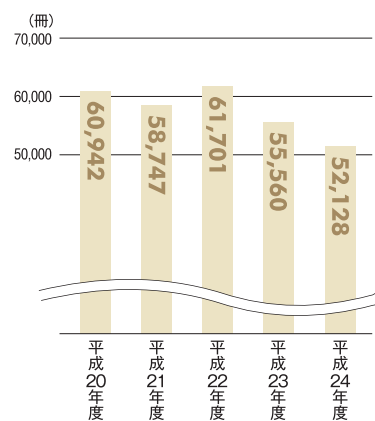


貸出冊数統計

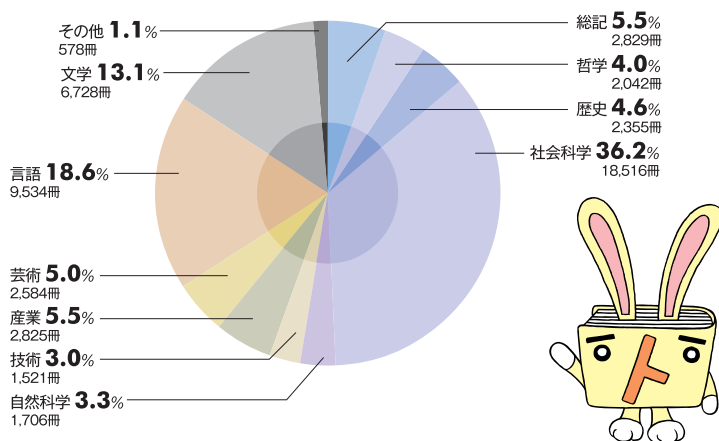
月別貸出冊数



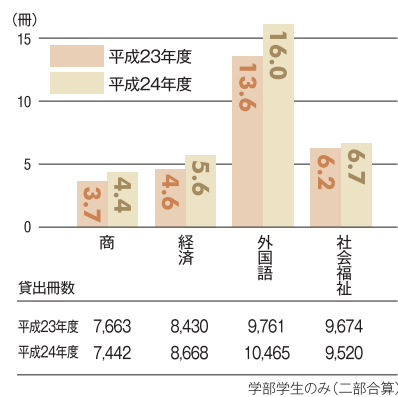
貸出冊数 (過去5年間比較)



分野別貸出比率



学部別一人あたりの貸出冊数



受入統計

平成24年度			
	洋書	和書	合計冊数
購入	2,118	10,546	12,664
寄贈	46	401	447
学内科研費	37	1	38
合計	2,201	10,948	13,149

ILL依頼・受付件数

平成24年度		
	依頼	受付
依頼	複写	950
	貸借	368
受付	複写	1,173
	貸借	281

データベース利用統計

平成24年度	
システム	件数
日経テレコン21	178,810
eol	28,951
MAGAGINEPLUS	1,783
CiNii機関定額制	22,015
LEX/DB	1,416
EBSCOhost	3,376



LIBRARY
DIARY

図書館日誌

2012年10月～2013年9月まで

図書館行事

10月4日・熊本県大学図書館協議会研修会・セミナー
10月8日・休館(体育の日)
10月10日・図書館委員会
10月13日・オープンキャンパス 図書館開放
10月22日～11月19日・Library Lovers' 2012開催
10月31日・学生懸賞論文受付締切
11月3日・休館(文化の日)
11月10日～11月16日・図書館実習
11月21日・図書館委員会
11月23日・休館(勤労感謝の日)
11月25日・休館(入学試験)
12月12日・図書館委員会(拡大)
12月24日・休館(天皇誕生日振替休日)
12月26日～1月4日・休館(年末年始休業)
1月14日・休館(成人の日)
1月19日～20日・休館(大学入試センター試験)
1月23日・学生懸賞論文表彰式
1月23日・図書館委員会
2月1日～3月25日・春休み長期貸出
2月6日～9日・休館(一般入試)
2月11日・休館(建国記念の日)
3月8日・休館(一般入試)
3月20日・休館(春分の日)
3月25日・図書館委員会
3月30日～31日・休館(年度末処理)
4月3日・入学式
4月15日～5月29日・新入生ガイダンス
4月28日・休館(昭和の日 通常授業に伴う開館)
5月3日～5月6日・休館(憲法記念日、みどりの日、こどもの日)
5月22日・図書館委員会
5月30日・休館(創立記念日)
6月3日・ラーニング・コモンズプレオープン

6月9日・大学懇談会(熊本地区) 保護者へ図書館開放
6月26日・図書館委員会
7月10日～12日・西原中学校ナイスライ
7月11日・学生懸賞論文説明会
7月14日・休館(海の日 通常授業に伴う開館)
7月28日・オープンキャンパス 図書館開放
8月2日～9月8日・夏期休業期間の長期貸出
8月8日・オープンキャンパス 図書館開放
8月12日～8月20日・休館(夏期一斉休業)
9月10日～9月12日・帯山中学校ナイスライ
9月11日・休館(一般職員研修会)
9月16日・休館(敬老の日)
9月19日・熊本県大学図書館協議会研修会・セミナー
9月20日・ラーニング・コモンズ正式オープン
9月22日・休館(秋分の日 通常授業に伴う開館)

見学者・団体

10月10日・必由館高等学校(30名)
10月11日・松橋高等学校(30名)
10月12日・青豊高等学校(21名)
10月25日・多良木高等学校(108名)
12月11日・熊本信愛女学院高等学校(28名)
1月15日・米国ベセル大学
3月13日・天草高等学校倉岳校(36名)
3月13日・天草高等学校天草西校(21名)
3月13日・氷川高等学校(29名)
3月13日・熊本中央高等学校(42名)
6月13日・くまもと青陵高等学校(20名)
7月9日・南稜高等学校(30名)
7月10日・熊本商業高等学校(80名)
7月25日・都城西高等学校(13名)
8月10日・竹田高等学校(9名)
8月10日・安心院高等学校(23名)
8月27日・御船高等学校(26名)

編集後記

2013年6月、「ラーニング・コモンズ」が1階に誕生しました。授業での活用や各種講習会を実施することで学生の認知度も次第に高まりつつあります。学生と教員との協同、他部署との連携など、大学全体の学習支援の中での図書館の位置づけを模索する日々です。できることから少しずつ、学生の主体的学習のための環境整備を目指していきます。(K・T)

熊本学園大学 図書館報

大楠 第52号
2013年9月30日

編集・発行／熊本学園大学付属図書館

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号
TEL(096)371-8047(直通) FAX(096)362-5967
<http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

携帯電話から本学図書館の
蔵書検索ができます。



機種によっては、
正しく表示されない場合が
ありますのでご了承ください。